

栃木県

学校における
アレルギー疾患対応
マニュアル

MANUAL FOR MANAGING STUDENT ALLERGIES IN TOCHIGI

平成 28 年 2 月

栃木県教育委員会

はじめに

近年、食物アレルギーなどのアレルギー疾患を有する児童生徒の増加が懸念されており、文部科学省が平成25年度に実施した「学校生活における健康管理に関する調査」において、平成16年度と比較し、食物アレルギーは約1.7倍、アナフィラキシーの既往は3.6倍に増加していることが明らかになりました。この他、アレルギー性鼻炎やアレルギー性結膜炎も増加しており、学校には各種のアレルギー疾患を有する子どもたちが多数在籍していることを再認識し、全ての教職員が正しい知識と適切な対応を身に付ける必要があります。

また、文部科学省より平成26年3月26日に「今後の学校給食における食物アレルギー対応について」の通知が発出され、平成27年3月には「学校給食における食物アレルギー対応指針」が発行されました。これらを受け、本県教育委員会では、栃木県アレルギー疾患対応推進協議会及び栃木県アレルギー疾患対応マニュアル作成委員会において協議を行い、本県教育委員会のアレルギー疾患対応の基本方針を策定するとともに、これまでの「学校給食を中心とした食物アレルギー対応の手引き」及び「学校のアレルギー疾患に対する取組」（平成23年3月）を改訂し、本書を発行いたしました。

平成27年12月25日に施行された「アレルギー疾患対策基本法」では、学校等の設置者等の責務として、アレルギー疾患を有する児童生徒に対し、適切な教育的配慮をするように努めなければならないと明示されています。本書を活用していただき、学校が保護者や主治医、関係機関等と連携し、学校給食や緊急時の対応を含めた体制整備の充実が図られ、アレルギー疾患を有する児童生徒が、学校生活を安全に安心して送れるよう期待します。

終わりに、本書の作成にあたり多大な御協力をいただきました関係者の皆様に対しまして、心より感謝申し上げます。

平成28年2月

栃木県教育委員会教育長

古澤 利通

目次

栃木県におけるアレルギー疾患対応の基本方針

I 学校生活全般

- 1 学校におけるアレルギー疾患の特徴を踏まえた取組について 1
 - (1) 各アレルギー疾患と関連の深い学校での活動
 - (2) 各活動における予防、観察、救急処置のポイント
- 2 アレルギー疾患対応の流れ 4
 - (1) 管理・配慮が必要な児童生徒の把握
 - (2) 学校生活管理指導表（アレルギー疾患用）について
 - (3) 保護者との面談
 - (4) アレルギー疾患対応委員会の設置
 - (5) 保護者への説明と同意
 - (6) 校内における個別の取組プランの共通理解と校内研修、消防署等との連携
 - (7) 取組の実施と検証
- 3 学校行事等での対応について 14
- 4 特別に配慮を要する児童生徒について 16
 - (1) 合理的配慮を踏まえたアレルギー疾患を有する児童生徒への対応
 - (2) 視覚シンボル（絵カード）活用例
 - (3) 写真等の活用例
 - (4) 家庭との連携

II 学校給食の対応

- 1 学校給食における食物アレルギー対応の大原則 19
- 2 学校での連携体制づくり 20
 - (1) 単独校調理場の場合
 - (2) 共同調理場の場合
 - (3) 食物アレルギー対応委員会
- 3 食物アレルギー対応の流れ 22
 - (1) 就学時（新規発症・転入時も同様）
 - (2) 進級時（学校給食で対応している児童生徒）
 - (3) 進学時（小・中学校間の引き継ぎ、高等学校への進学）
 - (4) 毎月の流れ（学校・調理場と保護者との協議）
- 4 学校給食対応の開始 30
 - (1) 献立作成
 - (2) 調理
 - (3) 受け渡し・配送
 - (4) 学級での配膳
 - (5) 片付け
 - (6) 洗浄作業

III 緊急時の対応

- 1 学校内での役割分担 39
- 2 消防機関との連携－救急要請（119番通報）のしかたとポイント－ . . . 40
- 3 校内研修の充実 41
 - (1) 基礎知識習得のための研修
 - (2) DVDを活用した校内研修例
 - (3) 「エピペン®」使用の実技研修
 - (4) 緊急時対応シミュレーション研修（訓練）
 - (5) ヒヤリハット事例の共有
- 4 アドレナリン自己注射薬（商品名「エピペン®」）の取り扱いについて . . . 50
 - (1) 「エピペン®」とは
 - (2) 「エピペン®」の使用について
- 5 緊急時の対応について 56
 - (1) 気管支ぜん息への対応
 - (2) アナフィラキシー（ショック）への対応
 - (3) 学校行事における緊急時の対応
 - (4) 災害時の備えと対応

- 学校におけるシックハウス問題、「化学物質過敏症」について 64

IV 様式集・付録

栃木県アレルギー疾患対応推進協議会委員（平成27年度）

委員長	浅井秀実	栃木県医師会 常任理事
委員	石坂典久	宇都宮市立城山中央小学校 校長
	磯川治美	宇都宮市立星が丘中学校 校長
	伊藤満美	栃木県教育委員会事務局 健康福利課長
	宇梶宏美	栃木県教育委員会事務局 学校教育課長
	齋藤真由美	栃木県立宇都宮中央女子高等学校 養護教諭
	酒井一行	県市町村教育委員会連合会 市教育長部会 会長 (小山市教育委員会 教育長)
	鈴木誠一	宇都宮市消防本部 警防課長 (消防司令長)
	鈴木正人	栃木県保健福祉部 健康増進課長
	高久尚子	栃木市立栃木第三小学校 養護教諭
	月井貴美子	那須塩原市立西那須野中学校 養護教諭
	伴瀬良朗	県市町村教育委員会連合会 町教育長部会 会長 (塩谷町教育委員会 教育長)
	星野純一	日光市立大沢小学校 栄養教諭
	増渕正典	栃木県立わかくさ特別支援学校 校長
	水越久夫	県市町村教育委員会連合会 市教育長部会 会長 (宇都宮市教育委員会 教育長)
	吉原重美	獨協医科大学小児科 准教授

栃木県アレルギー疾患対応マニュアル作成委員会委員（平成27年度）

石塚恵美	宇都宮市立星が丘中学校 栄養教諭
岡本理栄子	栃木県立富屋特別支援学校 養護教諭
川上佳代	益子町立七井中学校 養護教諭
齋藤真由美	栃木県立宇都宮中央女子高等学校 養護教諭
佐々木法子	矢板市立西小学校 養護教諭
諏訪貴子	宇都宮市立陽東中学校 養護教諭
高久尚子	栃木市立栃木第三小学校 養護教諭
田中美代子	佐野市立吉水小学校 養護教諭
中條佳津子	栃木県立宇都宮南高等学校 養護教諭
月井貴美子	那須塩原市立西那須野中学校 養護教諭
星野純一	日光市立大沢小学校 栄養教諭
若林ひろみ	鹿沼市立西小学校 養護教諭

このマニュアルの作成にあたり、下記委員会における研修において御協力いただきました

栃木県アレルギー疾患対応研修推進委員会（平成27年度）

吉原重美	獨協医科大学小児科 准教授
亀田聡子	新小山市民病院 小児科
栃木県立国分寺特別支援学校	
栃木県立小山城南高等学校	

このマニュアルの作成にあたり、御協力いただきました

那須烏山市学校給食センター

【事務局】

伊藤満美	県教育委員会事務局健康福利課長
広山美智子	県教育委員会事務局健康福利課主幹兼課長補佐（総括）
大牧稔	県教育委員会事務局健康福利課副主幹
小林恭子	県教育委員会事務局健康福利課指導主事
稲葉聖	県教育委員会事務局健康福利課指導主事
大森和枝	県教育委員会事務局健康福利課指導主事
有馬裕幸	県教育委員会事務局健康福利課指導主事
飯島宣幸	県教育委員会事務局健康福利課主任
松本祥太郎	県教育委員会事務局健康福利課主任

栃木県 学校における
アレルギー疾患対応マニュアル

平成28年2月
発行
栃木県教育委員会事務局健康福利課

〒320-8501
栃木県宇都宮市埜田1-1-20
TEL 028-623-3418
FAX 028-623-3437

本書は、文部科学省の「学校保健総合支援事業」委託事業として、栃木県が実施した平成27年度学校保健総合支援事業の成果をとりまとめたものです。
従って、本報告書の複製、転載、引用等には文部科学省の承認手続きが必要です。

VERY 
GOOD
LOCAL

とちぎ



古紙配合率70%再生紙を使用しています